

この教会の歴史

この教会は日本聖公会に属しています。聖公会はイギリス国教会を母体とするプロテスタントの教派ですが、儀式や典礼など伝統を尊重する点ではローマ・カトリック教会に近く、このキリスト教二大潮流を結ぶブリッジチャーチ（橋わたしの教会）とも呼ばれています。わが国の関係機関では立教大学や聖路加国際病院などがよく知られていますが、福祉事業の分野でも広く社会に貢献してきました。世界中の信徒はプロテスタント最大の約7千万人を数えています。

川越教会の始まりは明治11（1878）年にさかのぼります。この年横山錦柵、田井正一の両氏による伝道活動が開始され、明治22（1889）年現在の元町一丁目に礼拝堂が建てられましたが、明治26年の川越大火で焼失しました。今の場所に礼拝堂が建設されたのは大正10（1921）年4月でした。当時ニューヨーク大学教授だったピーターソン夫妻が建設資金の調達に大変尽力され、今日見る煉瓦造りの聖堂としてよみがえりました。

こうした教会は川越の地に伝道が始まった年から数えると140年の歴史を歩んできました。特にこの半世紀、日本の社会は戦争の惨禍を経てかつてない激動の中にありましたが、教会は川越の地にキリスト教信仰の灯を絶やすことなく守り通してきました。2000年には新会館・牧師館が建設されました。祈りと奉仕を通して、地域社会に開かれています。

教会の建物

礼拝堂はチューダー様式で、W.ウイルソン技師の設計によります。外壁に使われている煉瓦は単調でなく、ところどころに焼きムラのある煉瓦が使われており、落ち着いたムードを醸し出しています。

天井は木製の二重合掌造りで、屋根を支える梁と柱には三位一体の神を象徴するクローバーの三つの葉が、三角形の空間に形を結ぶように小さな突起が配置されています。

祭壇をはじめ礼拝堂の内部はすべてキリスト教の伝統に従ってつくられており、堂内全体が舟（ノアの箱舟）をイメージした構造になっています。この建物は1979年、日本建築学会により「近代の主要名建築」の一つとして選ばれ、さらに2001年、国の「登録有形文化財」と市の「都市景観重要建築物」の指定を受けました。

教会の鐘

薦のからまる鐘楼には新旧二つの聖鐘が取り付けられています。古い鐘は半世紀前に、新しい鐘は21世紀の幕開けに架けられました。それぞれ「思い出の鐘」と「明日の鐘」と呼ばれ、主日（日曜日）の聖餐式（せいさんしき・ミサ）、朝夕の礼拝や結婚式、葬送式などで鳴らされます。鐘の音は哀しみを癒して低く、希望にあふれて高く、その靈感に満ちた響きを人々の心に伝え届けています。

礼拝のご案内

日曜日 午前8時と10時30分 聖餐式
夕の礼拝が18時からあります。

日曜日は午前8時と10時30分から聖餐式（ミサ）という礼拝を行っています。司祭（牧師）の司式で礼拝が進行し、説教（お話）があります。礼拝堂の入り口には案内係がいますから、初めて来た方はその旨を教えてください。礼拝では聖書のほかに祈祷書（きとうしょ）というお祈りの本と聖歌集などの讃美歌集を使います。礼拝中立ちたり、座ったりひざまずいたりしますが、慣れるまで、あるいは足がご不自由な場合はお席にかけられたままでも結構です。

なお、礼拝に出席されても、はじめは納得できないことや疑問に思うこと、また、とまどうことが多いと思います。礼拝後に司祭と会い、なんでも尋ね、お話してください。しばらく教会に来られるうちに、キリスト教の信仰を理解して、自分もこれに従って生きようと決心された時、司祭に申し出て洗礼・堅信を受け、パンと葡萄酒の聖餐にあずかることができます。

また、教会では聖書を学ぶ会、日曜学校、お仕事会（手芸）、お菓子の会、コンサート、講演会、バザーなど様々な活動に取り組んでおり、いつでも、誰でも参加できます。主なる神はすべての人を招かれ、祝福を与えてくださいます。 （2018年1月作成）

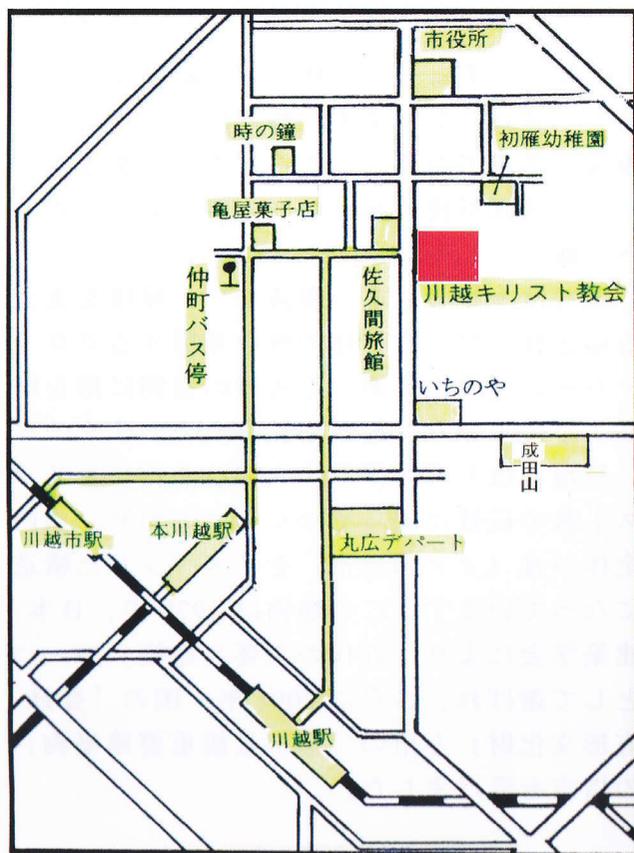


教会のパイプオルガン

パイプオルガンとしては小型ですが、この礼拝堂の構造や空間、さらに用途等を勘案し、最もふさわしい響きを奏できるように設計されています。この教会の信徒を中心に多くの方々から献金をいただき、1996年完成、奉獻されました。2017年には一部パイプの増設とオーバーホールが行われました。主に礼拝や結婚式、葬送式等の儀式において使用されますが、オルガンを中心としたコンサートも毎年開催され、好評を博しています。

総パイプ数 347本 製作者 草薙徹夫氏

教会までのご案内



バスの場合

- ①川越駅東口より、東武バス（1番線神明町車庫行き）にて、5つ目のバス停、仲町にて下車、徒歩3分
- ②本川越駅前バス停（東武バス神明町車庫行き）より、3つ目のバス停、仲町にて下車、徒歩3分

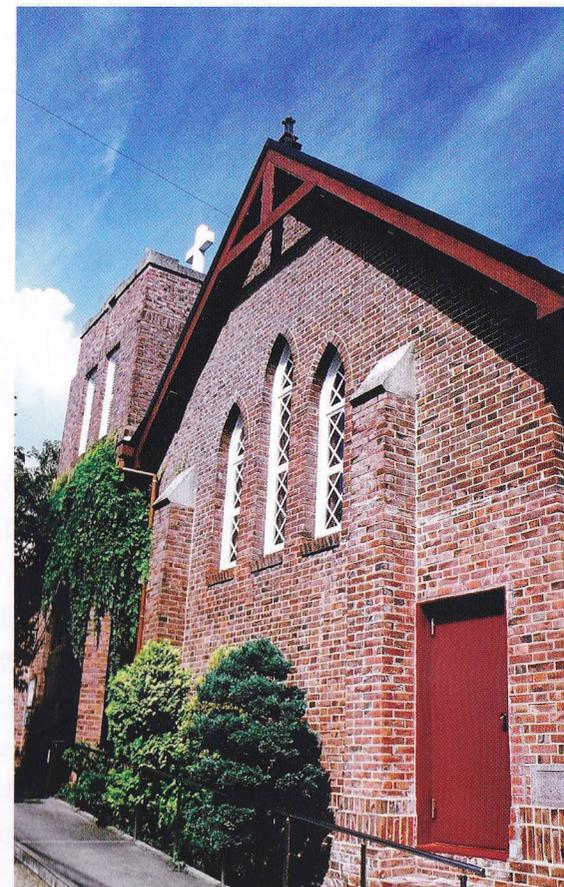
徒歩の場合

川越駅より徒歩約25分、川越市駅より徒歩約20分、本川越駅より、徒歩約15分、

タクシーの場合

佐久間旅館前の川越キリスト教会とってください。

教会案内



日本聖公会北関東教区 川越キリスト教会

〒350-0056 川越市松江町2-4-13

電話：049-222-1429

FAX：049-222-2056

URL：kawagoe-seikoukai.org/